

# 福生三中だより

令和6年10月21日発行 No.6

福生市立福生第三中学校

## 学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼節

## 「目配り」「気配り」「心配り」

校長 増木 一仁

10月6日～10月8日に修学旅行を実施しました。修学旅行のしおりに次のような文を記載しました。

私がこの修学旅行で、皆さんに期待することは二つです。

一つ目は、関西地方、京都、奈良の歴史や文化を自分の目で見て、肌で感じてほしいということです。

京都、奈良は日本を代表する歴史的建造物や文化財も多くあります。また、食や言葉、街の景観、雰囲気なども、私たちが住む東京とは違いがあります。こういったものを実際に自分の目で見て、肌で感じて見識を広げてほしいと思います。見識を広げることは、何か考えたり、判断したりする際により多くの情報や選択肢を持つことにつながります。

二つ目は、生徒も先生方もみんなで協力して豊かな時間にしてほしいということです。

このメンバーで行く修学旅行の2泊3日の時間は、生徒の皆さんにとっても、先生方にとっても二度とない貴重な時間になります。全員が楽しい、良い時間になりたいと思っているはずです。

2泊3日の時間を全員が楽しい、良い時間にするために大事なことは「目配り」「気配り」「心配り」です。この2泊3日は集団生活であり、学校の外で、一般の人の中での生活です。自分だけでなく周りをよく見て、周りに気を配り、周りの人のことを考え、行動することで楽しい、良い時間、豊かな時間が生まれます。

10月7日、私に学校から連絡が入りました。何かあったかと慌てて電話に出ると、京都市内のホテルから連絡があったことの報告でした。観光施設に落ちていたホテルの部屋の鍵を、本校の生徒がホテルまで届けに来てくれたとのことのお礼の電話が学校にあったとの嬉しい報告でした。

「目配り」「気配り」「心配り」、大切な社会性です。今後も大切にさせていきたいと思っています。

2泊3日の修学旅行は多くの経験と思い出のつまった豊かな時間になったのではないかと思います。改めて体験的な学習の必要性を認識しました。

明後日は音楽会、心のこもった合唱が聴けることを期待しています。



## 道徳授業地区公開講座

9月14日(土) 道徳授業地区公開講座が行われました。意見交換会へは、

保護者、CS委員、地域の方々が御参加くださり、貴重な意見をいただきました。



## 生徒会役員選挙

9月24日(火)新しい生徒会役員を決めるため、立会演説会と投票を行いました。

福生市選挙事務局から本物の投票箱をお借りし、演説を聞いた後、各クラスに戻って投票しました。



## 歯磨き習慣

給食後の歯磨きを習慣化することを目指し、保健給食委員が呼び掛けています。歯磨

きをした生徒からは、「すっきりした!」という声が聞こえてきました。

